



地域でがんばる消防団!

私たちが住むまちには、「自分たちの地域は自分たちで守る」という精神で、日ごろから地域の安心・安全を守る消防団があります。そこで、消防団の活動内容や天草市消防団について紹介します。





団長あいさつ



天草市消防団団長
松下 智洋

本年4月から、天草市消防団団長を拝命しました。地域防災の要である消防団の長というたいへん重い職責に、身の引き締まる思いでございます。

さて、昨年の東日本大震災以降、地域防災の重要性が再認識されており、その中心的存在である消防団へも大きな期待が寄せられているところでございます。本市消防団といたしましても、広域化・多様化する災害に対応すべく、地域の防災訓練への参加など、団員の知識や技術など質の向上を図っているところでございます。

しかしながら、団員の減少や高齢化、就業構造の変化による昼間の出動人員不足が全国的な問題となっており、団員確保は本市でも重要な課題となっております。

この解決策の一つとして、消防団員経験者にご協力いただき「機能別団員制度」を本年4月から導入しました。

このように、時代に即した消防団のあり方を常に模索し、皆さんの期待にこたえられる組織づくりを行っていきたいと考えております。今後ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

- ▼本渡方面隊長 松下 啓治
- ▼牛深方面隊長 木下 重人
- ▼有明方面隊長 木下 豊則
- ▼御所浦方面隊長 濱本 敏充
- ▼倉岳方面隊長 原田 光成
- ▼栖本方面隊長 岡田 祐一
- ▼新和方面隊長 下田 敬二
- ▼五和方面隊長 堀川 正人
- ▼天草方面隊長 松江 良博
- ▼河浦方面隊長 山下 和則



猪原 康祐



松崎 修

- ▼副団長
- ▼副団長 松下 智洋

天草市消防団幹部紹介

消防団は、消防組織法に基づいて市町村が設置している公的な機関です。地域の有志によって組織されており、全国に約2,300の消防団があり、約88万人が団員として活動しています。

団員は、日ごろはそれぞれ職業を持ちながら、火災や災害への対応、火災の予防啓発活動などに従事。地域に密着した消防・防災のリーダーとして、住民の安心と安全を守っています。

消防団を 知って いますか？

天草市消防団は、団員数3,158人（11月1日現在）で、団長と副団長（2人）、女性消防隊（19人）、旧市町単位に設けられた10方面隊で組織されています。各方面隊は地域を単位とする分団、さらに各分団は地区を単位とする部で構成されていま

す。天草市消防団組織の詳細については、左ページをご覧ください。また、今年の4月からは、消防団員経験者が昼間の火災時に出勤する「機能別団員制度」を導入しました。同制度の概要については、7ページをご覧ください。

消防団の主な活動



機械器具の定期点検



火災予防運動中の啓発活動



地域における防火、防災の啓発活動



火災の鎮圧



災害時の救助・救出、警戒巡視、避難誘導、災害防御



家族などの要請による行方不明者の捜索



冬季、夏季などの定期訓練や出初式、消防学校入校

災害の 最前線で 消防団は

昨年7月5日の夜から同6日の午前にかけて、活発な梅雨前線の影響で県南部に激しい雨が降りました。熊本地方気象台の牛深特別地域気象観測所(牛深町)では、6日の午前5時40分までの1時間に79.5mm(7月の観測史上最大)、同7時10分までの3時間に160.5mm(1976年の統計開始以降最大)という記録的な大雨を観測。この雨の影響により、市内でも牛深地域を中心に各地で家屋の浸水や土砂崩れが発生しました。

このような災害の最前線で、消防団はどのような活動を行ったのでしょうか。

そこで、地区内が冠水、家屋の床下浸水、土砂崩れなどの被害にあった久玉町村田区の津端郁雄区長と、同かじや区の松下二六一区長、そして同町を管轄する牛深方面隊第4分団の濱崎安治分団長に、当時の状況などについて話をお聞きしました。

―観測史上に残る大雨を記録しました。

松下区長 それはもう、すごい雨でしたよ。確か朝の5時くらいだったと思います。区で自主防災組織をつくっていますので、私は班長さんたちに連絡をして状況把握を行いました。

また、地区内には海よりも低い冠水の常習地帯があるんです。心配で確認をしにいったら、すでに湖のような状態でした。

津端区長 雨の勢い、音がいつもとは違っていました。雨が家の屋根に当たる音で、テレビの音声聞こえないんです。それぐらいの状況でした。濱崎分団長 ほんとうに異常な雨。消防団としては、5日の夜に大雨・洪水警報、6日未明には土砂災害警戒情報が発表されましたので、警戒態勢はすでにとっていました。

そんな中、午前5時ごろ、かじや区内を通る県道26号沿いの山が土砂崩れになっていくという連絡があつて、すぐに現場に急行したんです。か

さを持参したんですが、雨がひどすぎてかさはまったく役に立たなかったですね。

―土砂崩れにより県道が寸断されていたんですね。

濱崎分団長 はい。連絡を受けて私が見にいったときには、流れ込んだ土砂が完全に道路をふさいでいました。すぐに団員に指示して人が近寄らないように交通規制を行い、土砂にたまつた水をはかせるために、木々の伐採などの対応を行いました。

その後、県がブルドーザーなどの重機を投入しましたので、土砂を除去後、無事に通れるようになりました。

松下区長 私たちが生活する



村田区
つばた いくお
津端 郁雄 区長

うえでなくてはならない道路であり、一刻も早い復旧を願う中で、消防団の皆さんにはいち早く対応していただき、ほんとうに助かりました。

濱崎分団長 また、町内では各地で土砂崩れが発生しましたので、土砂の除去のほか、崩れた山肌をブルーシートで覆うなどの対応も行いました。目の前で起きている災害を何とかしなければという思いで、団員全員が必死になつて対応にあたりました。



▲土砂の除去作業を行う団員



かじや区
まつした ふじいち
松下 二六一 区長

ロールをしていただきました。感謝しています。

濱崎分団長 災害はいつ起きるか分かりませんが、いつか必ず起きるものです。これからは「地域の安全を守るのは私たち」という自負をもつて取り組んでいきたいと思っています。

一方で、団員たちは、日常はそれぞれ仕事を持ちながら、消防団活動に取り組んでいます。各事業所におかれましては、消防団活動へのご理解とご協力を、よろしくお願ひします。

また、若い人々には、消防団活動に興味をもつただけだき、ぜひ入団していただければと思います。



天草市消防団
牛深方面隊第4分団
はまさき やすはる
濱崎 安治 分団長

松下区長 やはり頼りですよ。われわれ区長は、住民の安全を第一に考えなければなりません。そういう中で、消防団はいちばんのよりどころです。

―地域にとって、消防団とはどういう存在ですか。

津端区長 そうですね。大雨の影響で地区内でも道路の冠水や家屋の床下浸水、土砂崩れなどの被害がありました。が、人命にかかわる事態にはなりません。ほんとうに幸いだったと思います。

―幸いにして、今回の大雨によるけが人や犠牲者は出ませんでした。

また、区主催の奉仕作業にも参加していただいていますし、ありがたいと思っています。津端区長 住民の高齢化が進んでいますので、そういう意味でもなくてはならない存在だと思っています。

この前の台風の時、大潮と重なったときですね。そのときも消防団の皆さんにパト

土砂崩れにより道路が寸断された県道26号



奮闘記

全国消防操法大会

10月7日に東京都江東区にある東京臨海広域防災公園で開催された第23回全国消防操法大会。これは、全国大会出場を果たした牛深方面隊の記録です。

10月7日
いよいよ大会当日。しかし、昨晩からの雨がまだ降り続けている。会場に到着するも、やはり雨。カッパを着ての入場行進・開会式となった。
そして、ついに競技開始。牛深方面隊の競技順は最後から2番目のため、出番は午後となる。昼になり、雨が止む。どんな出場順が近づいていき、いよいよ本番を迎える。
青空が広がり、陽が差ししてきた。資機材のセットが終わり、選手たちは待機態勢に入る。操

10月6日
会場での前日練習。晴れてはいるが、雨の前特有の蒸し暑さでジメジメしている。
本番で使用するコースは使用できず、水出しでの操法もできない。同じ会場内にある練習スペースで操法を行う。
訓練が終わりホース検査を受け、明日の開会式のリハーサルが始まる。入場から開会式までの長いリハーサルだった。その後、会場隣の東京ビッグサイトで出場選手の激励交流会が行われた。夜になり雨が降り始める。

終わりに
今回の全国大会では、市や消防団員、地域の皆さんなど多くの支援を受けた。もちろん、長期にわたる訓練で選手、応援団員、それを支えた家族などの苦勞も、多大であったと思う。
しかし、県大会を勝ち抜き、全国大会出場という輝かしい1ページを天草市消防団の歴史に残したことは、たいへん意義深く、名誉なことであったと思う。

法開始の合図があり、選手たちが動き出す。応援で駆けつけた団員、東京牛深会の皆さんからも応援の声が飛ぶ。そして、競技終了。
結果は納得いくものではなかったようだが、市消防団として他チームにも引けをとらない操法ができたと思う。



▲操法を行う選手たち。背後には東京牛深会の横断幕

機能別団員制度の紹介

市では今年4月から、昼間の火災における出動人員の確保を目的として、消防団員経験者を対象にした「機能別団員制度」を導入しました。現在、各方面隊に124人が所属しています。

資格

- ・70歳以下で、昼間も管轄区域内にいる人。
- ・消防団員の経験が10年以上ある人。

●活動内容＝主に昼間の火災時に、所属する分団の範囲内で消火活動を行う。



▲松下団長(左)から辞令書を受け取る機能別団員

方面隊 だより

非常事態に備えて

～五和方面隊消防機械器具審査会～

五和方面隊では、毎年11月に実施される「秋の全国火災予防運動」にあわせて、消防機械器具審査会を開催しています。この審査会は、火災などの有事に備えるため、また、団員の士気の高揚を図る目的で、旧五和町消防団の設立後から行われており、50年近く続いている伝統行事です。

町内25カ所の消防拠点施設を巡回し、機械器具の整備状況や格納庫の清掃状況、通常点検による団員の規律などを審査し、優良部は



▲審査会のような

12月の冬季訓練で表彰を行っています。各部では、日ごろから消防車輦、資機材の点検・整備、消防格納庫の清掃を行っています。審査会前になると上位入賞を目指して連日連夜、点検・整備に取り組んでいます。
今年の審査会は11月4日に行われ、ピカピカに磨き上げられた消防ポンプの前で操作員がエンジン始動を行い、緊張した面持ちで審査を受けていました。また、当日は、団員が管轄区域を巡回し火災予防の呼びかけ、防火チラシの配布などの広報・啓発活動も行いました。
このほか、秋の全国火災予防運動期間中は、積載車による巡回広報や火災を想定した非常呼集訓練を実施し、火災予防、消防技術力向上に取り組んでいます。



▲きれいに整頓された格納庫

キラリ☆ 女性団員



天草市消防団では、多くの女性団員が活躍しています。11月1日現在で、本部の女性消防団に19人、御所浦方面隊の女性消防部に28人が在籍しています。

主な活動内容は、火災を未然に防ぐための啓発活動で、特に春と秋の火災予防運動期間中は高齢者宅を訪問し、防火を呼びかけるなどの活動を行っています。

また、2年に1回行われている女性消防団員による県操法大会にも出場しており、昨年は4位入賞を果たしました。

消防団は、さまざまな職業や年代の人たちが集う交流の場でもあります。多くの女性の入団をお待ちしています。



▲高齢者宅を訪問し啓発活動を行う団員たち



◀昨年行われた県操法大会

天草市消防団 団員募集中!

「自分たちの地域は自分たちで守る」

火災、災害から地域の人々を守る。これが消防団です。地域に住む私たちだからこそ、地域のためにがんばりましょう。

「かけがえのない仲間づくり」

消防団員は、さまざまな業種や年代の人が集まる組織です。活動を通して仲間意識が芽生え、深い^{きずな}“絆”も生まれます。

「女性団員も募集」

天草市消防団では、女性団員が防火啓発活動などで活躍しています。ぜひ、入団をお願いします。

■入団資格＝市内在住で、18歳以上の人（男女は問いません）。

■活動内容＝火災や風水害などの防御や被害の軽減活動、各種訓練への参加など。

■入団方法＝電話で本庁・防災交通課または各支所消防担当課へご連絡ください。

※このほか、消防団員経験者が再入団して昼間の火災に対応する「機能別団員制度」を導入しています。入団方法などの詳細は、最寄りの消防団にお尋ねください。

【問い合わせ先】 本庁・防災交通課 ☎③1111内線1232

各支所消防担当課／牛深 ☎⑦2111・有明 ☎⑤3111・御所浦 ☎⑥72111・倉岳 ☎⑥43111

栖本 ☎⑥63111・新和 ☎④62111・五和 ☎③21111・天草 ☎④21111・河浦 ☎⑦61111

消防団活動に対する 各事業所のご協力を！

近年、事業所に勤務する団員の割合が高くなっており、地域の消防・防災力の維持・向上を図るためには、各事業所の協力が必要不可欠です。消防団活動に対する、各事業所のご理解とご協力をお願いします。



消防 豆知識

サイレン吹鳴について



火災が起きたときのサイレン吹鳴については、火災の種類によって次のとおり放送されます。

種 類	吹鳴方法
建物火災	3秒吹鳴→2秒休みの5回
林野火災 (枯れ草火災などを含む)	10秒吹鳴→2秒休みの3回

このほか、各種訓練などでも吹鳴が行われます。